

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 東海財務局長

【提出日】 2020年8月7日

【四半期会計期間】 第37期第1四半期(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

【会社名】 株式会社ビーイング

【英訳名】 Being Co., Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 津田 誠

【本店の所在の場所】 三重県津市桜橋1丁目312番地

【電話番号】 (059) 227-2932

【事務連絡者氏名】 常務取締役経理部長 後藤 伸悟

【最寄りの連絡場所】 三重県津市桜橋1丁目312番地

【電話番号】 (059) 227-2932

【事務連絡者氏名】 常務取締役経理部長 後藤 伸悟

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第36期 第1四半期 連結累計期間	第37期 第1四半期 連結累計期間	第36期
会計期間		自 2019年4月1日 至 2019年6月30日	自 2020年4月1日 至 2020年6月30日	自 2019年4月1日 至 2020年3月31日
売上高	(千円)	1,636,186	1,492,306	6,487,066
経常利益	(千円)	288,153	84,332	600,426
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(千円)	190,949	47,840	395,322
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	194,129	48,947	399,394
純資産額	(千円)	3,718,317	3,815,684	3,923,585
総資産額	(千円)	7,808,831	7,868,423	7,952,573
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	24.38	6.10	50.43
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
自己資本比率	(%)	47.6	48.5	49.3
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	250,744	442,794	14,726
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	135,883	32,342	364,469
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	176,033	154,646	231,716
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	4,306,180	4,041,742	3,785,984

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、経営者が連結会社の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に重要な影響を与える可能性があると認識している主要なリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

経営者の視点による当社グループの経営成績等の状況に関する認識及び分析・検討内容は次の通りであります。

なお、文中の将来に関する事項は、当第1四半期連結会計期間末日現在において判断したものであります。

(1)経営成績の分析

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、経済活動や社会活動が制限された影響により、景気が大幅に後退するなど、極めて厳しい状況で推移しました。

当社グループにおいても、設備関連事業においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響は比較的小さかったものの、生産性向上コンサルティング事業においては、極めて大きな影響を受けました。また、建設関連事業においても、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中で、リードの確保が困難になってきており、少なからず影響を受けております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比して8.8%減少し1,492百万円となりました。

コスト面では、主に原価率の高い株式会社ラグザイアが連結された影響により前年同期に比して原価が増加しております。

この結果、経常利益は前年同期に比して70.7%減少し84百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比して74.9%減少し47百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次の通りであります。

(建設関連事業)

建設関連事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、商談機会の減少や商談の長期化といった影響が顕在化しております。また、主力商品である土木工事積算システム初のクラウド版である『Gaia Cloud(ガイア クラウド)』は、当四半期中に投入予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、8月1日にリリース日を延期しております。

コスト面では、前年同期は含まれていなかった株式会社ラグザイアの損益が連結されたことで、原価が増加しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して9.1%減少し1,062百万円、セグメント利益は前年同期に比して77.2%減少し61百万円となりました。

(設備関連事業)

設備関連事業につきましては、意思決定者と直接コンタクトできる特性を活かし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大する環境においても、その影響を最小限にとどめることができました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して3.0%増加し402百万円、セグメント利益は前年同期に比して7.2%増加し37百万円となりました。

(生産性向上コンサルティング事業)

生産性向上コンサルティング事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、顧客企業がテレワークや自宅待機を実施したため、予定していたコンサルティング契約のほとんどが延期となりました。

このような状況の中、動画とWeb会議システムを組み合わせてテレワーク環境においても受講しやすい研修コンテンツを開発するなど、新しい取り組みを行ってまいりましたが、コンサルティング契約の減少を補うにはいたらず、当第1四半期連結累計期間の売上高は前年同期に比して64.7%減少し27百万円となりました。これにともない、セグメント損失は15百万円(前年同期はセグメント利益12百万円)となりました。

(2)財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金が273百万円、未収入金を含むその他の流動資産が105百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が445百万円、繰延税金資産が23百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて84百万円減少し、7,868百万円となりました。

負債は、預り金を含むその他の流動負債が140百万円、前受収益及び長期前受収益が50百万円それぞれ増加し、未払法人税等が65百万円、賞与引当金が127百万円それぞれ減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて23百万円増加し、4,052百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により47百万円増加し、配当により156百万円減少したことなどから、前連結会計年度末に比べて107百万円減少し、3,815百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より0.8ポイント下降し、48.5%となりました。

(3)キャッシュ・フローの状況の分析

当第1四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは442百万円の増加(前年同四半期は250百万円の増加)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益82百万円の計上、売上債権の減少額445百万円などの収入、賞与引当金の減少による支出127百万円、法人税等の支払額83百万円などによる支出があったことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは32百万円の減少(前年同四半期は135百万円の減少)となりました。これは主に、定期預金の預入による支出17百万円(純額)、有形固定資産の取得による支出11百万円、敷金及び保証金の差入による支出2百万円(純額)などがあったことによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは154百万円の減少(前年同四半期は176百万円の減少)となりました。これは、配当金の支払いによるものです。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて255百万円増加し、4,041百万円となりました。

(4)優先的に対処すべき事業上及び財務上の課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5)研究開発活動

当社グループの研究開発活動は、経営理念に基づき「お客様の求めるものを最高の形で提供すること」を基本方針として、お客様に信頼される製品・サービスを提供すべく研究を重ねております。

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は86百万円であります。当第1四半期連結累計期間は、建設関連事業において、土木工事積算システムを中心に研究開発活動を行いました。

3 【経営上の重要な契約等】

該当事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	24,000,000
計	24,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (2020年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (2020年8月7日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	8,257,600	8,257,600	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	8,257,600	8,257,600		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月30日		8,257,600		1,586,500		

(5) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 415,200		単元株式数は100株であります。
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,840,800	78,408	同上
単元未満株式	普通株式 1,600		同上
発行済株式総数	8,257,600		
総株主の議決権		78,408	

(注) 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式 27株が含まれております。

【自己株式等】

2020年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ビーイング	三重県津市桜橋 1 312	415,200		415,200	5.03
計		415,200		415,200	5.03

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号。以下「四半期連結財務諸表規則」という。)に基づいて作成しております。

なお、四半期連結財務諸表規則第5条の2第2項により、四半期連結キャッシュ・フロー計算書を作成していません。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、五十鈴監査法人による四半期レビューを受けております。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,107,184	4,380,842
受取手形及び売掛金	1,138,205	692,714
有価証券	259,297	259,648
商品及び製品	7,368	9,196
原材料及び貯蔵品	6,863	1,093
仕掛品		9,358
その他	211,848	317,620
貸倒引当金	1,561	1,298
流動資産合計	5,729,206	5,669,176
固定資産		
有形固定資産	245,433	265,089
無形固定資産		
のれん	355,268	347,752
その他	34,550	31,176
無形固定資産合計	389,818	378,929
投資その他の資産		
投資有価証券	1,586	1,433
繰延税金資産	898,452	874,901
その他	691,153	681,970
貸倒引当金	3,077	3,077
投資その他の資産合計	1,588,114	1,555,228
固定資産合計	2,223,366	2,199,247
資産合計	7,952,573	7,868,423

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	141,690	167,624
未払法人税等	84,898	19,166
前受収益	1,003,718	1,054,821
賞与引当金	254,717	127,278
その他	389,369	530,100
流動負債合計	1,874,394	1,898,992
固定負債		
退職給付に係る負債	726,006	725,732
長期前受収益	1,420,379	1,419,506
その他	8,208	8,508
固定負債合計	2,154,593	2,153,747
負債合計	4,028,988	4,052,739
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,586,500	1,586,500
資本剰余金	207,510	207,510
利益剰余金	2,223,567	2,114,560
自己株式	99,316	99,316
株主資本合計	3,918,261	3,809,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,826	1,913
為替換算調整勘定	3,492	4,512
その他の包括利益累計額合計	5,319	6,425
非支配株主持分	4	3
純資産合計	3,923,585	3,815,684
負債純資産合計	7,952,573	7,868,423

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	1,636,186	1,492,306
売上原価	342,892	401,066
売上総利益	1,293,293	1,091,239
販売費及び一般管理費	1,002,740	1,011,013
営業利益	290,552	80,226
営業外収益		
受取利息	426	721
受取配当金	36	36
技術指導料	1,000	
保険配当金		2,084
雑収入	1,201	4,173
営業外収益合計	2,663	7,015
営業外費用		
支払利息		5
為替差損	4,942	2,401
雑損失	120	502
営業外費用合計	5,062	2,909
経常利益	288,153	84,332
特別利益		
固定資産売却益	416	
特別利益合計	416	
特別損失		
固定資産売却損		25
固定資産除却損		50
事務所移転費用		2,083
特別損失合計		2,158
税金等調整前四半期純利益	288,570	82,173
法人税、住民税及び事業税	40,278	10,893
法人税等調整額	57,342	23,439
法人税等合計	97,621	34,332
四半期純利益	190,949	47,840
親会社株主に帰属する四半期純利益	190,949	47,840

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益	190,949	47,840
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	68	86
為替換算調整勘定	3,112	1,019
その他の包括利益合計	3,180	1,105
四半期包括利益	194,129	48,946
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	194,131	48,946
非支配株主に係る四半期包括利益	1	0

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	288,570	82,173
減価償却費	6,946	8,525
のれん償却額	5,277	7,515
貸倒引当金の増減額(は減少)	937	263
賞与引当金の増減額(は減少)	143,796	127,438
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	408	300
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	4,966	274
受取利息及び受取配当金	462	757
支払利息		5
事務所移転費用		2,083
固定資産売却益	416	
固定資産売却損		25
固定資産除却損		50
売上債権の増減額(は増加)	246,274	445,440
たな卸資産の増減額(は増加)	1,666	5,417
仕入債務の増減額(は減少)	25,319	25,933
未払又は未収消費税等の増減額	27,965	222
前受収益の増減額(は減少)	26,093	51,102
長期前受収益の増減額(は減少)	649	872
その他	46,690	33,241
小計	475,950	521,596
利息及び配当金の受取額	193	500
利息の支払額		5
法人税等の支払額	225,399	83,707
法人税等の還付額		4,409
営業活動によるキャッシュ・フロー	250,744	442,794
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	217,100	317,900
定期預金の払戻による収入	200,000	300,000
有価証券の償還による収入	233	
有形固定資産の取得による支出	10,484	11,890
有形固定資産の売却による収入	416	4
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	109,162	
敷金及び保証金の差入による支出	95	3,188
敷金及び保証金の回収による収入		324
その他	307	307
投資活動によるキャッシュ・フロー	135,883	32,342
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	22	
配当金の支払額	176,011	154,646
財務活動によるキャッシュ・フロー	176,033	154,646
現金及び現金同等物に係る換算差額	299	47
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	61,472	255,757
現金及び現金同等物の期首残高	4,367,652	3,785,984
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 4,306,180	1 4,041,742

【注記事項】

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

新型コロナウイルス感染症の拡大は、経済活動に広範な影響を与える事象であり、収束時期を予測することは困難であります。当社グループは当連結会計年度中はその影響が続くものと仮定し、繰延税金資産の回収可能性などの会計上の見積りを行っております。

収束時期が遅延し、影響が長期化した場合には、当社グループの業績および財政状態に悪影響を及ぼす可能性があります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
現金及び預金	4,540,380 千円	4,380,842 千円
預入期間が3か月超の定期預金	234,200 "	339,100 "
現金及び現金同等物	4,306,180 千円	4,041,742 千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年5月14日 取締役会	普通株式	180,007	23.0	2019年3月31日	2019年6月12日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月14日 取締役会	普通株式	156,847	20.0	2020年3月31日	2020年6月11日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	生産性向上 コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,168,344	390,707	77,134	1,636,186		1,636,186
セグメント間の内部 売上高又は振替高	31,034	800	1,319	33,153	33,153	
計	1,199,378	391,507	78,453	1,669,340	33,153	1,636,186
セグメント利益	269,798	34,865	12,689	317,353	26,800	290,552

(注) 1 セグメント利益の調整額は、のれん償却額 5,277千円、セグメント間取引6,000千円、および子会社株式の取得関連費用 27,523千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表計上額 (注) 2
	建設関連事業	設備関連事業	生産性向上 コンサルティング 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,062,810	402,276	27,220	1,492,306		1,492,306
セグメント間の内部 売上高又は振替高	27,006	800	869	28,676	28,676	
計	1,089,816	403,076	28,089	1,520,982	28,676	1,492,306
セグメント利益 又は損失()	61,407	37,378	15,614	83,171	2,944	80,226

(注) 1 セグメント利益又は損失()の調整額は、のれん償却額 7,515千円、およびセグメント間取引4,570千円であります。

2 セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
1株当たり四半期純利益	24.38円	6.10円
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	190,949	47,840
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益(千円)	190,949	47,840
普通株式の期中平均株式数(千株)	7,831	7,842

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

2020年5月14日開催の取締役会において、2020年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額 156,847千円

1株当たりの金額 20円00銭

支払請求権の効力発生日及び支払開始日 2020年6月11日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年8月7日

株式会社ビーイング
取締役会 御中

五十鈴監査法人 津事務所

指定社員
業務執行社員 公認会計士 安井 広伸 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 中出 進也 印

監査人の結論

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ビーイングの2020年4月1日から2021年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ビーイング及び連結子会社の2020年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。四半期レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者及び監査等委員会の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業の前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査等委員会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の四半期レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した四半期レビューに基づいて、四半期レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に従って、四半期レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- ・ 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続を実施する。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。
- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、我が国において一般に公正妥

当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、適正に表示されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、四半期レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、四半期レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。

- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠していないと信じさせる事項が認められないかどうかとともに、関連する注記事項を含めた四半期連結財務諸表の表示、構成及び内容、並びに四半期連結財務諸表が基礎となる取引や会計事象を適正に表示していないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論を表明するために、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の四半期レビューに関する指示、監督及び実施に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。

監査人は、監査等委員会に対して、計画した四半期レビューの範囲とその実施時期、四半期レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。

監査人は、監査等委員会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去又は軽減するためにセーフガードを講じている場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

-
- (注) 1 . 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。
- 2 . XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。